

テ  
マ

「増産  
ふりまわされる農家の気持ち」

都の北学園  
第五学年  
児童

卷之三

I ーーのテーマの記事を選んだ理由を書いてください。

僕の祖父は兼業コメ畠辰家で、僕の家はお米に困ったことはありません。だからお米の価格上昇や備蓄田米の放出などのニュースを聞く限りも僕はさうと他人事でした。でも、「減反」から「コメ増産」に政策転換するという記事を関連記事を読んで、コメ農家の気持ちを考えてみたいたいと思ったのでこの記事を選択しました。

II 比べる記事のそれぞれの内容について分かつたことを書いてください。

コメ作りの近くにいた人の声を幅広く知ることができました。

増産のメリットとデメリットをバランスよく知ることができました。コメ作りにかかる費用や今後の課題についても具体的な数字や話が出ていてわかりやすかったです。

①と②を比べて分かつたこと、自分で調べてみたいこと。

①と②を比べて分かつたこと、自分で調べてみたいこと。

ほしよん いじ原の声を耳にしました。僕も農家からコメ増産によって受けとり方が変わってくるんだなと感じました。

かわいいからかわいいからかわいいからかわいいから

①上(じょう)を比べて分かること、自分で調べてみたかい。

①と②を比べて分かつたこと、自分で調べてみたいこと。

①と②を比べて分かったこと、自分で調べてみたいこと。

同じように農家の声を載せても、記事の伝送方法や取材の内容によって受けとり方が変わってくるんだなと感じました。僕も農家からコメ増産に

「うーん、うーん、うーん」と、うなづいてみたりしました。

Ⅲ テーマについて、自分の考え方や他の人と交流をして気付いたこと、調べたこと、提案などを書いてください。

コメ作りに必要な新しい機械を買うのも大変。今さら減反政策で畑にした田んぼを戻して田作りして広げようとしてもあと何年農家の続けられるか考えたらどうないよ。と言わされました。コメ増産でお米が足りれば安心して生活できるし売れるお米ができる増えれば農家の収入も増えると田べついた僕は、考えが甘かった反省しました。

高齢者や後継者がない農家では、祖父が言うように増産のための対応ができません。若い農家や大農家にはチャンスで去戸或いは不安視する声がでるもの当然です。しかも増産でお米が余ったら、今度は価格が下がって農家は生活できなくなります。だから僕は増産政策がうまくいくためには、作りすぎないよう、生産量を決め、農業機械をシェアルできるサービスを作る、高齢農家の田んぼを若手が手伝う仕組みを作るなど、コメ作りのための環境を整えることも必要だと考らえました。農家が安心してお米を作れる政策にならて欲しいと思ひます。